

「に」げすに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ようりょくする



～コスモス～

学校だよりNo.36では、「田植えが進んでいます」という話題を挙げました。登校指導に向かう途中、田んぼを見ると、今ではたわわに垂れ下がる稲穂が、朝日を受けて黄金色に輝いています。そして、澄んだ空気が秋を感じさせます。まさに「実りの秋」です。

登校しながら子どもたちと「涼しくなってきたね」「やっと秋らしくなってきたね」と話していると、田んぼのまわりに咲いている花があります。「何という花か知ってる?」と聞いてみました。すると、すぐに「コスモスでしょ!」と答えが返ってきました。「すごい!よく知っているね。じゃあ、コスモスって漢字でどう書くか知ってる?」と聞いてみました。みんな知らないと言うので、色々とヒントを出しましたが、やっぱり答えは出ません。「秋の桜と書いてコスモ

スって読むんだよ」と得意気に話しながら、ふと思いました。何でコスモスは秋の桜と書くのだろうと。

調べてみました。コスモスは、キク科コスモス属に分類されます。原産地は中南米で、特にメキシコが主な原産地とされています。日本には明治時代に伝わったようです。それ以来、花の美しさが人々の心をつかみ、日本の秋の風物詩として多くの場所で人々に愛されるようになりました。コスモスは秋に美しく咲く花です。日本の春を代表する花として「桜」があります。コスモスの花弁の形は、桜の花弁に似た形をしており、一部のコスモスの品種は、淡いピンク色で、桜の花の色に似ています。これらの特徴から、秋に咲く桜に似た花「秋の桜」という意味合いで「秋桜」と名付けられたそうです。つまり、コスモスを漢字では「秋桜」と書き、本来は「あきざくら」と読むのが正しいということです。

では、いつから「秋桜」をコスモスと読むようになったのか、です。秋桜をコスモスと読むようになったのは、今から50年ほど前に、山口百恵さんの「秋桜(コスモス)」という曲が流行ってからだそうです。作詞作曲をしたさだまさしさんが、曲のタイトルを「秋桜」とし「コスモス」と読ませました。歌詞の中でも同じように「秋桜」と表記し「コスモス」と読んでいます。実は秋桜をコスモスと読むのはそれからの当て字だったようです。それが今ではパソコン等で「こすもす」と入力し変換するとちゃんと「秋桜」と出でます。

知っているつもりでも、実はよく知らないことが世の中にはたくさんあります。そして、ふと「なぜだろう」と思うところから、自分の知識は広がっていくのだと思います。西神吉っ子のみなさんにも「なぜ?」「どうして?」という気持ちを大切にしてほしいと思ったある秋の朝でした。

◆お願い◆

令和7年度運動会がいよいよ今週末に迫ってきました。運動会当日、子どもたちが元気いっぱい、力を出し切れますように、ご家庭におかれましてもお子様の体調管理をよろしくお願ひします。また、朝に涼しくても、日中はまだ暑い日がありますので、今しばらくは十分なお茶等を持たせてください。



学名 : *Cosmos bipinnatus*
英名 : *Cosmos*
和名 : 秋桜 (あきざくら)
科名 : キク科 (Asteraceae)
属名 : コスモス属 (Cosmos)
原産地 : 中南米、特にメキシコ